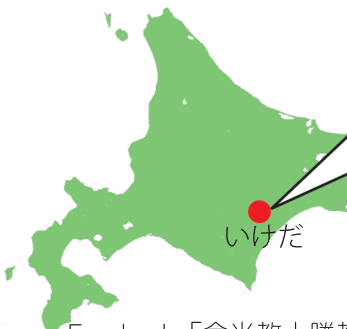
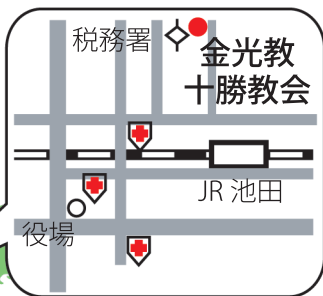


TEL 015-572-2322
FAX 015-572-4213



いけだ



金光教十勝教会
〒083-0001

Facebook「金光教十勝教会」池田町旭町 1-9
<https://konkotokachi.stars.ne.jp>

十勝教会 だより 95



Facebook



教会 HP (PC)



金光教公式 HP



写真 - 本部祭場
春の御大祭（天地金乃神大祭）の様子

「神様」について ちよつと考えてみよう

金光教十勝教会

九月も中秋を過ぎ日毎に秋が深まってきました。みなさん元気にお過ごしでしょうか？

さて、毎年九月秋分の日には「秋の霊祭」が執り行われます。私達はそれぞれ親先祖の皆様を家の霊様としてお祀りしています。その先人の方々は、様々な御縁を通じ金光教と出会い、信心し

て神様に助けられました。そしてその信心は、先人の後を受けた皆さんに引き継がれているものと思います。

ところで、そうやって私達に引き継がれた代々信心している神様「^{てんちかのかみ}天地金乃神様」ってどんな神様でしょうか？ 代々信心するほどの神様ですから、有り難い神様、私達を助けてくれる神様であるのは間違いないのです

が、では神様はなぜ私達を助けてくれるのでしょうか？ 先代達から「こういう神様だよ」とか教えてもらったことはありませんか？

今回はそのところを少しだけ掘り下げてみましょう。

○

「金光教はこういう宗教ですよ」というのを説明した「金光教教規前文」という文章があります（拝詞集「日々がさら」

8ページ)。そこに神様についての説明があるので、抜粋したものを掲載します。少々堅苦しい文章ですが我慢して読んでみてください。

(前略)

天地金乃神は、天地万有を生かす無限のはたらきであり、人間をはじめ万物のいのちの根源である。神は、人間を神のいとし子として愛してやまず、人間が助かり立ちゆくことをひたすら願っている。人間は、神の恵みと慈しみの中に生かされて生き、神の心を分け与えられ、その働きによって神の願いを現すことができるのである。神と人とは、「人あつての神、神あつての人」の関係にある。

人間は、この天地の道理を知らないと、ころから、人間中心の生き方に陥り、そこに神との隔たりができ、難儀が生まれる。人間の難儀は神の苦しみであり、人間が助かることが神も助かることである。(後略)

いかがでしょうか？

これだけを読んでもピンとこないかもしれないませんが、神様は私達のいのちの根源・大もとであり、いのちを生かす働きだともいいます。

私達のいのちそのもの、そして天地の恵みや体の働きをはじめ、私達が生きていくのに必要不可欠な様々な働きが神様だということです。

さらに、その神様は、私達の立ち行き、助かりを常に願われているといえます。神様には色々と実現したいことがあるのですが、その神様の願いを實現するのは私達人間です。そうすると、当然人間が立ち行かないと神様の願いも叶わない。つまり、私達人間にとつて神様が必要不可欠な存在であると同じように、神様にとつても人間は無くしてはならない存在だということです。

○

私達がいただく「天地金乃神様」は私達のいのちのもとであり、私達を支え、生かしてくれる様々な働きでもあ

り、私達を必要としてる。なんとなく親のような存在に思えますが、その事もあつてか、神様は私達と悩みや苦しみを共にされていると言います。

そう、天地金乃神様は、私達とは遠く離れた存在ではありません。常に私達と共におられる神様なのです。

○

最後に、もう一度先程の文章を読み直してみよう。ただし、今度は文中の「△△」のところに「自分の名前」を入れて読んでみてください。

天地金乃神は、天地万有を生かす無限のはたらきであり、△△をはじめ万物のいのちの根源である。神は、△△を神のいとし子として愛してやまず、△△が助かり立ちゆくことをひたすら願っている。△△は、神の恵みと慈しみの中に生かされて生き、神の心を分け与えられ、その働きによって神の願いを現すことができるのである。神と△△とは、「△△あつての神、神あつ

十勝教会この後の祭典行事日程

- 生神金光大神大祭（秋の御大祭）
11月20日（日）
・大祭前大掃除 大祭打ち合わせ
11月12日（土）
- 滝上礼拝所生神金光大神大祭並秋季霊祭
10月5日（水）
- 薫別講社生神金光大神大祭
12月5日（月）
- 越年感謝祭（年越大祓）
12月31日（土）

ての△△」の関係にある。
△△は、この天地の道理を知らないところから、△△中心の生き方に陥り、そこに神との隔たりができ、難儀が生まれる。△△の難儀は神の苦しみであり、△△が助かることが神も助かることである。

私達はこんな神様の信心しています。

教会日誌

令和4年4月1日から7月31日まで

4月2日 勧学祭。

4月4日 芽室町、M家、旬日祭。

4月7日 本部天地金乃神大祭、教会長参拝。

4月10日 大祭前大掃除、大祭打ち合わせ。

4月14日 芽室町、M家、旬日祭。

4月15日 大祭前ご用奉仕、16日も。

4月17日 天地金乃神大祭。（大祭関係の写真は次ページ）

4月20日 境内、松の木伐採作業。22日まで。



写真 - 境内松の木伐採作業

風倒災害などを考え境内東斜面にあった大きな松の木2本を伐採しました（一番下の写真が伐採前の様子）。おかげで東斜面日当たりもだいぶよくなりました。



写真 - 大祭前の大掃除と大祭準備



→ 冬の大雪の名残。この春は日陰に残雪がかなり残っていたので雪割りです。



→ 今年の春の御大祭も直会はずせとお弁当の持ち帰り。そのお弁当を作ります。





写真 - 天地金乃神大祭（春の御大祭）
 今年の春の御大祭も、新型コロナウイルス感染症対策のため、隣接教会との交流と直会宴も中止したため、静かな御大祭となりました。
 それでも、参拝された方々の勢を揃え、天地金乃神様へお礼の真心をお供えさせて頂きました。
 教話は北見教会長・矢代千春先生。

4月22日 滝上礼拝所、天地金乃神大祭並春季霊祭。

4月24日 芽室町、M家、旬日祭。

4月29日 夕張教会布教九十年記念祭並二代教会長二十年祭。教会長祭主奉仕。

5月3日 帯広市、I家、式年祭。

5月4日 芽室町、M家、旬日祭。

5月8日 帯広市、K家、住宅解体新築奉告祭。

5月13日 函館教会大祭、教会長参列。

5月14日 芽室町、M家、五十日祭・合祀祭。

5月17日 薫別講社、天地金乃神大祭。

5月29日 釧路教会大祭、教会長教話御用。

6月5日 境内整美の日。

6月11日 余市町、I家、式年祭。

6月19日 旭川教会、布教百二十年記念祭。みよ子先生、信奉者代表参拝。

6月19日 帯広教会、布教百年記念祭。教会長参列、信奉者代表参拝。



写真
夕張教会布教九十年記念祭並二代教会長二十年祭(上)
帯広教会布教百年記念祭(下)

6月25日 青少年少女会リーダー研修会、安平町。一名参加、26日まで。

6月26日 上半期感謝祭。

7月1日 池田町、M家、二柱霊神式年祭。

7月3日 北広島市、I家葬儀式、玉串料お供え。

7月5日 陸別町、S家、式年祭。

7月10日 道東地区教会連合会研修会、網走教会。 8
名参加。

7月17日 札幌市、M家、式年祭。

7月22日 帯広市、K家、地鎮祭並新築工事着工安全
祈願祭。

7月24日 境内整美の日。

7月27日 音更町、M家、二柱霊神式年祭。



写真 道東地区教会連合会研修会
コロナのせいで休止していた研修会が、二年ぶりにようやく
開催されました。



写真 境内整美作業
今年は気温が高く雨も多かったせいで、
草木の成長も早く。草刈りをしてもし
ぐに草丈が伸びてきます。
東斜面も松の木を切って日当たりが
よくなったせいで、芝の成長が早くな
りました。

道東地区教会 関係教会 秋の大祭日程

釧路教会 10月23日(日)

北見教会 11月 3日(祝)

帯広教会 11月 6日(日)

網走教会 10月16日(日)

夕張教会 11月 3日(祝)

函館教会 11月13日(日)

※交流参拝について

新型コロナウイルスの感染状況をみて、あらためて交流参拝の判断を行います。交流参拝が再開された場合、あらためてお知らせいたします。